

令和5年度事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

特定非営利活動法人の名称

特定非営利活動法人 こんにちは・国際交流の会

1. 事業の成果

私たちの会は、「日本語教育事業」「国際交流事業」「国際理解事業」を通して日本人・外国人の交流を進め、多文化共生のまちづくりに寄与しようと毎年計画し活動してきたが、ここ数年はコロナ禍で制約を強いられてきた。

令和5年度になってようやく様々な活動が徐々に出来るようになってきた。

例年と同様に、同じ目的をもつ他団体の事業に参加協力した。

各事業については、以下のとおり報告する。なお、営利事業は一切行わなかった。

2. 事業報告

定款第4条及び第5条の規程に基づいて、以下の事業を行った。

(1) 日本語教育事業

ア 日本語教室

外国につながる人々を対象に、年間3学期体制で日本語教室を開設し、学習希望者の日本語能力に合わせて、金曜日3クラス、土曜日5クラスを開設した。

<金曜日クラス>

- ・学期：春学期：令和5年5月12日～令和5年7月21日（6/2休み）
秋学期：令和5年9月8日～令和5年11月17日（11/3休み）
冬学期：令和6年1月12日～令和6年3月22日（2/23休み）
- ・時間：18:30～20:15
- ・場所：鶴見国際交流ラウンジ

<土曜日クラス>

- ・学期：春学期：令和5年5月13日～令和5年7月22日（6/3休み）
秋学期：令和5年9月9日～令和5年11月11日（読解Bのみ11/18）
冬学期：令和6年1月13日～令和6年3月16日
- ・時間：10:00～11:45（初級A・初級B・中級A）
13:00～14:45（中級B）
18:00～19:45（読解B）（9/23休み）
- ・場所：鶴見区福祉保健活動拠点
- ・内容：6/2、6/3は台風接近による悪天候のため中止し、春学期は1週順延した。
- ・金曜日クラスは、春学期・秋学期は初級B・中級A・中級Bの3クラス編成だったが、冬学期は中級Bクラスに学習者が集中したため、急遽クラス編成を初級B・中級B・読解Aに変更して対応した。
- ・学習者数は、春学期52名（17か国）、秋学期82名（17か国）、冬学期71名（18か国）、年間では、23か国、国別では中国39%、ベトナム11%、フィリピン8%となった。

- ・日本語ボランティアは、春学期 33 名、秋学期 33 名、冬学期 34 名が活動した。
- ・「クラスリーダー会」は各学期 2 回開催し、クラス別課題や学習者・ボランティアの動向等を共有すると共に、中級テキストの改訂を検討した。
- ・当会の日本語ボランティアのブラッシュアップを目的として、2 月 4 日（日）に『中級テキスト勉強会』を開催、15 名が参加した。
- ・「日本語ボランティア入門講座」（鶴見国際交流ラウンジ）受講者の授業見学を受け入れた。
- ・「プライベートレッスン」は本年度延べ 48 名の学習者に対し、ボランティア 5 名が対応した。年度末には 4 名のボランティアが単独 3 名、4 グループ 12 名のレッスンを継続していた。
- ・本事業は「鶴見区ふれあい助成金」を受けて実施した。

イ 日本語教育委託事業

本年度は、企業及び法人等からの委託はなかった。

(2) 国際交流事業

ア 外国人のための防災教室

- ・日時：令和 5 年 7 月 9 日（日）9：30～16：00
- ・場所：横浜市民防災センター・大さん橋・赤レンガ倉庫
- ・参加者：39 名（学習者 22 名、会員 17 名）、鶴見区役所担当者 3 名
- ・内容：学習者を対象に「防災教室」を開催した。横浜市民防災センターのガイド付き体験コースに参加、地震から避難までの流れを疑似体験し、知識だけではなく実際の対処方法や行動を分かりやすく学習した。
外国人が参加しやすいように観光の要素も取り入れ、防災教室の後、大さん橋、赤レンガ倉庫を観光、横浜を満喫した。
本事業は鶴見区の「共助のための防災活動補助金」を受けて実施した。

イ 茶道体験

- ・日時：令和 5 年 11 月 18 日（土）13：30～15：30
- ・場所：馬場花木園 茶室
- ・参加者：30 名（学習者 24 名、会員 6 名）
- ・内容：東高校茶道部のご協力を得て 4 年ぶりに実施。参加者は 2 班に分かれ抹茶を喫する茶道体験をした。秋らしい「紅菊」の銘の和菓子は高校生のデザイン。参加者からは抹茶の飲み方や所作についての質問などが出て「やさしい日本語と英語」で指導していただいた。天気にも恵まれ、茶道体験の前後には花木園内の散策や古民家見学も楽しむことができ、日本文化に触れる良い機会と参加者も喜んでいた。

ウ 日本文化体験

- ・日時：令和 6 年 1 月 21 日（日）13：30～15：30
- ・場所：鶴見区福祉保健活動拠点 多目的研修室 A B C
- ・参加者：35 名（学習者 16 名、一般 2 名、会員 17 名）
- ・内容：日本文化の一端である書初め、カルタ、けん玉、お手玉、折り紙、福笑いを、

学習者と日本語ボランティアと一緒に楽しみながら体験した。

(3) 国際理解事業

ア 国際理解講座

- ・日時：令和5年11月5日（日）13：30～15：30
- ・場所：鶴見区福祉保健活動拠点 多目的研修室ABC
- ・参加者：38名（学習者2名、一般20名、会員16名）
- ・内容：ボリビアの魅力について、ボリビア日系2世の元読解Bクラス学習者から紹介していただいた。ボリビアの地理、人口などの基本的な情報から始まり首都、産業、民族、観光地などを話していただいた。多民族国家である為、民族衣装やダンスが多種多様であった。発表者も友人と一緒にダンスを披露された。後半は沖縄からの移民の開拓状況の話だった。普通では見ることが出来ない当時の写真なども見せていただいた。大変な苦労の中で念願の道路が完成した写真の説明では、感極まって目頭を押さえる場面もあった。参加者からの感想は「ボリビアについて知ることが出来て大変良かった」「サンタクルスの温泉の川に入りたい」「感極まったのを拝見して、グッときました」などがあつた。
本事業は「鶴見区社会福祉協議会区域連携推進事業」として実施した。

(4) 行政機関及び他団体との協働事業

ア 鶴見国際交流ラウンジの活動への参加

- ・鶴見国際交流ラウンジ主催の日本語部会に、理事及び日本語ボランティアが参加し、「日本語ボランティア入門講座」等の企画運営に協力した。
- ・令和5年6月24日（土）「3館合同2023ワックわくデー」のパネル展に参加し、学習者2名が「多文化共生フェスタ2023」に登壇し、日本語スピーチを披露した。

イ 鶴見区社会福祉協議会の活動への参加

- ・地域福祉団体部会員として理事1名がボランティア・市民活動団体分科会に参加。
- ・令和6年2月17日（土）「鶴見・あいねっと推進フォーラム」（鶴見公会堂）のパネル展に参加した。会員1名が社会福祉功労者として感謝状をもらった。

ウ 鶴見区災害ボランティアネットワークの活動への参加

- ・団体会員として理事1名が運営委員会に参加した。
- ・令和6年1月16日（火）シミュレーションを実施した。能登半島地震を踏まえて、来年度から、実践を重視した具体的な活動内容に改善していくこととなった。

エ つるみ区民活動センターの活動への参加

- ・令和5年7月15日（土）「つるみMACHI塾」の講師として、会長が当会の歴史を紹介した。
- ・令和6年3月15日（金）～19日（火）、鶴見区内のボランティア団体を紹介する市民活動紹介展「鶴魅力」（サルビアホールギャラリー）に参加した。

オ 横浜東ロータリークラブの活動への参加

- ・令和6年3月22日（金）横浜東ロータリークラブ様主催の観桜会（東部本宮会館）に他団体とともに招待され、会員4名が参加した。